学校番号	３１０

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術演習	単位数	２単位	年次	２・３年次
使用教科書	「高校生の美術３」　（日本文教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

美術・造形の基礎的な知識や技術を学び、自分たちの生活に身近なものの制作を通して、自己のイメージを創造的に表現する力を養う。
国内外の作品を鑑賞し、その美しさや良さを知ることで、自国の文化への理解と、異文化を持つ人々への共感を高め、デザインや美術の諸能力を伸ばす。

2　学習の到達目標

美術および造形の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
【知識及び技能】対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していくことができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	オリエンテーション	年間の授業のあらましを解説 日本の民芸品、世界の代表的な民族固有の工芸品の鑑賞	a: 年間のスケジュールがりかいできているか。 c: 学習内容に関心を持ち、積極的に調べ学習に取り組んでいるか。	プリント		プリント
	デザイン	日本と世界の模様 日本及び世界の生活用品や工芸品を調べる。 ユニットパターンによる模様作りなどの基礎的なデザイン技法を学んだ上で、独創的な模様をデザインする。	A：レポートの充実度。 c: 主体的に調べ学習に取り組めているか。 b:独創的なデザインができているか。	プリント	作品	プリント
	陶芸	陶芸について 焼き物全般の種類や技法について学ぶ。 陶箱制作 陶芸のくり貫き技法で箱を制作し、自分でデザインした模様を象嵌で表現する。 陶箱の完成 出来上がった作品について意見を述べる。	a:積極的に調べ学習に取り組み、プリントが書けているか。 b:象嵌のデザインに独自の工夫が見られるか。 c:他人の作品に対し、自分の意見を述べることができているか。	プリント	作品	発表
	鑑賞	世界のステンドグラスとその歴史	a: 積極的に調べ学習に取り組み、プリントが書けているか。	プリント		

二学期	ステンドグラス	ステンドグラスによるオリジナルデザインの鏡制作 鏡を取り入れたステンドグラスのデザイン画制作。 ガラスをカットするための型紙作り。 ガラスカット、はんだ付けの技法を学び、様々な道具を適切に使用し、それぞれのデザイン画に基づいて作品制作を行う。	a:ガラスの特性を理解し、アイデアを考えることができているか。 b:アイデアに独自の工夫がみられるか。 a:はんだ付けの技術を理解し、作品制作できているか。 c:主体的に取り組み、より良い作品になるようこだわりを持って取り組めているか。	アイデアスケッチ 作品	アイデアスケッチ	作品
	鑑賞	作品展示 出来上がった作品を鑑賞し、お互いの作品について意見を述べる。	c: 他人の作品のよさを見つけ、自分の作品と比較して意見を述べることができているか。			発表 レポート
三学期	彫刻	靴ベラ制作 ヒノキの板を使用し、靴ベラを作る。 持ち手の部分に浮彫の彫刻を施す。	a:浮彫の技法を理解して制作できているか。 b:持ち手のデザインに独自の工夫がみられるか。 c: 主体的に取り組み、より良い作品になるようこだわりを持って取り組めているか。	作品	作品	取り組み レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度